

令和7年度第2回 生駒市環境審議会

【議事要旨】

日時:令和7年12月16日(月) 10:00~12:00

場所:生駒市役所4階 401・402会議室

1. 配布資料

- 資料1 生駒市の環境《令和7年度版》
- 資料2 先行地域事業の進捗状況と今後の方向性について
- 資料3 脱炭素シンポジウムの開催案内

2. 協議会出席者

区分	所属	氏名
会長	奈良県立大学 教授	水谷 知生
副会長	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 主任研究員	河瀬 玲奈
委員	生駒市議会	中嶋 宏明
委員	生駒市自治会連合会 副会長	藤堂 宏子
委員	生駒商工会議所 副会頭	上武 敏一
委員	生駒市農業委員会 副会長	稲葉 健三
委員	エコネットいこま 代表	矢田 千鶴子
委員	一般社団法人 市民エネルギー生駒 代表理事	楠 正志
委員	生駒市社会福祉協議会 事務局長	辻中 伸弘
委員	公募市民	岩下 仁子
事務局	生駒市地域活力創生部長 生駒市地域活力創生部次長 生駒市脱炭素まちづくり推進課長 生駒市 SDGs・公民連携推進課長 生駒市環境保全課長 生駒市環境保全課 課長補佐 生駒市環境保全課 課長補佐 生駒市 SDGs・公民連携推進課 主幹 生駒市脱炭素まちづくり推進課推進係長 生駒市環境保全課事業係長 生駒市 SDGs・公民連携推進課 SDGs推進係	川島 健司 谷 英也 高谷 英明 井川 啓一郎 河島 嘉明 紀之國 暁 木戸 勇 掛樋 佐紀子 島田 奈穂 柳田 裕規 藤村 佳生

3. 議事録

1. 開会	
2. あいさつ	
3. 案件	
(1) 令和7年度版「生駒市の環境」について	
事務局	資料1について説明。
矢田委員	「環境監査報告書」の作成にあたって、生駒市環境マネジメントシステム推進会議で議論された内容についての報告。
藤堂委員	21 ページ(3)廃棄物対策に記載の「資源ごみ 5 種を含む 7 種」については「資源ごみ 6 種を含む 9 種」ではないか。
事務局	ご指摘の通り。資料を修正する。
河瀬副会長	「はじめに」の表中における「目標数値」について、令和 10 年度の西暦表記が誤っている。また、「はじめに」の「3.第 3 次生駒市環境基本計画の中間見直し」における第 3 次環境基本計画の終期が令和 11 年度ではなく、令和 10 年度ではないか。
事務局	ご指摘の通り。資料を修正する。
河瀬副会長	職員アンケートの回収率が低下したということだが、未提出の職員は注意されないのか。
事務局	職員全員に回答は求めるものの、強制ではない。また、今回のアンケートも設問が多く職員個人では回答しにくいものもあった。このことも回答率が低下した要因と分析している。次年度以降実施する際は改善したい。
中嶋委員	「はじめに」と 27 ページにペットボトルの水平リサイクルについての記載があるが、具体的な数値は書き加えられないのか。
事務局	ペットボトルの回収量は把握しているので記載可能。記載する修正を行う。
矢田委員	ペットボトルの水平リサイクルは化石由来原料の使用削減につながる。その効果についても記載してもらいたい。
水谷会長	27 ページの記載では使用料となっているが使用量に改めるべきではないか。
事務局	文言の追加と訂正を行う。
楠委員	17 ページの図表20に記載の市民共同太陽光発電所は合計 5 基に修正が必要。また、調達実績についてはこの値で問題ないのか。
事務局	確認して対応する。
辻中委員	「はじめに」の「1. 脱炭素化に向けた取組」において、特別目的会社についての記載があるが、12 ページのように「いこま市民パワー等が設立した」という説明を付記した方が伝わりやすいのではないか。
事務局	ご指摘の通り修正する。
水谷会長	資料編で用語解説されている単語にはアスタリスクを付記する運用だと思うが、「はじ

	めに」の「PPA」にはアスタリスクがついていない。
事務局	ご指摘の通り修正する。
(2)本市の脱炭素先行地域計画の進捗状況及び今後の方向性について	
事務局	資料2及び資料3について説明。
楠委員	脱炭素先行地域の推進を図るべく、生駒市と共催にて脱炭素シンポジウムを実施する予定。市民にとってのメリットを伝え、賛同者を増やしていきたいと考えている。 先程の事務局よりの説明において、環境省からの補助金2/3の説明がなかったが、大きなメリットでもあり、ぜひ強調して進めてほしい。
事務局	住民説明の際には補助金が適用される説明もしている。今回の資料は本審議会での事業説明用に作成しているもので、その部分の記載は削っている。
水谷会長	現在の応募状況はいかがか。
事務局	5自治会からの申請意向を確認している。
河瀬副会長	選定済みの2地区は高齢化率の高い地区。住宅の築年数もかなり経っているケースが多いと思われる。地区内での各家庭へのポスティングにあたり、アプローチ方法は工夫しているのか。
事務局	建て替え検討や家族構成の変動などの家庭ごとの事情を確認し、高齢で建て替えを考えていないような、設置が好ましくないケースにはお勧めしていない。
河瀬副会長	ご高齢の家庭で、設備の設置が難しい場合でも、再エネ電気の案内はできる。
事務局	周知していく。
藤堂委員	ひかりが丘ではアンケートを現在実施中。結果が出ればある程度ニーズをつかめるのでは。
上武委員	事業期間は。
事務局	令和9年度まで。
(3)その他	
事務局	「生駒市の環境」は年内に修正し、1月以降に冊子を印刷する予定。
4. 閉 会	

以 上